

海底土核種分析結果

(データ集約：4/27)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側(T-1)	福島第一 南放水口付近(T-2-1) ¹
試料採取日	2017年3月6日	2017年3月6日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・乾土)	
Cs-134 (約2年)	32	29
Cs-137 (約30年)	180	200
Sr-90 (約29年)	ND(0.59)	ND(0.60)
福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去の測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土 出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)		

Cs-134, Cs-137については, 2017年4月19日公表。

NDは検出限界値未満を表し, ()内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、代替としてT-2地点(1～4号機放水口から南側に約330m地点)において試料を採取。

さらに、1～4号機放水口から南側に約280m地点へ移動して試料を採取。(2017年1月27日～)

(評価)

今回測定した試料からは, Sr-90は検出されなかった。